

13. 暗渠排水工事

13-1 集水渠（支線）・導水渠（幹線）

(1) 掘削状況



留意事項

- 使用機械の作業状況と掘削後の状況が把握できる。
- 周囲の状況が入っているので、施工場所が特定しやすい。

撮影方法

- 使用機械・作業状況はもちろんのこと、背景も取り入れて施工場所がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測点
- 作業内容
- 使用機械名・規格を記入する。

(2) 掘削出来形確認



留意事項

- 撮影対象をアングルの中心に置いて撮影する。
- アングルを低くすると背後の連続性も確認できる。
- 高さの目盛にあて木・ピンポールなどをあてる。

撮影方法

- 出来形寸法とともに、前後の連続性が確認できるように撮影する。
- あて尺や丁張などを用いて断面がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測点
- 作業内容
- 断面略図を記入する。

13-1 集水渠（支線）・導水渠（幹線）

(3) 布設深の測定状況



留意事項

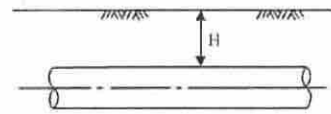
- 布設深は、右図のとおり管頂で測定すべきである。
- アングルを低くするとドレーン（ポリエチレン管）の布設状況も確認できる。
- 高さの目盛にあて木・ピンポールなどをあてる。

撮影方法

- 出来形寸法とともに前後の連続性が確認できるように撮影する。
- あて尺や丁張などを用いて、断面がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測点
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 略図を記入する。



(4) 布設延長の測定状況



留意事項

- 測定箇所起点がわからないのでポールを立てる。
- 幅の広いリボンロッドを用いて、目盛が確認できるようにする。
- 黒板が逆光で見えない。

撮影方法

- 測定長が長い場合は、起終点の近接写真との組み写真とするなどの工夫をして撮影する。
- 起終点がわかるようにポールを立てて撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測点
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法を記入する。